



ブート整合性の可視性

- [ブート整合性の可視性 \(1 ページ\)](#)
- [ブート整合性の可視性の仕組み \(1 ページ\)](#)
- [イメージ署名 \(3 ページ\)](#)
- [ソフトウェアイメージとハードウェアの確認 \(3 ページ\)](#)
- [プラットフォーム ID の確認 \(3 ページ\)](#)
- [ソフトウェア整合性の確認 \(5 ページ\)](#)
- [イメージ署名の確認 \(6 ページ\)](#)

ブート整合性の可視性

ブート整合性の可視性は、ROMMON ソフトウェアを検証して完全性を確保することにより、ハードウェア トラストアンカーとして機能します。

ブート整合性の可視性によって、シスコのプラットフォームのプラットフォーム ID とソフトウェアの整合性情報の両方が可視化され、実用可能になります。プラットフォーム ID とは、製造時に割り当てられた一意の ID であり、これによって各デバイスを確実に識別できます。ソフトウェア整合性には、ブート整合性測定値のキャプチャを伴います。これは、プラットフォームが、信頼できるコードを使用してブートしているかどうかを判断するのに役立ちます。

お使いのシスコデバイスでは、ブート整合性の可視性機能がサポートされています。

ブート整合性の可視性の仕組み

process_summary

CiscoIOSXE ソフトウェアイメージをシスコデバイスにコピーすると、ROMMON ブート ROM がシスコのリリースキーを使用してイメージを検証します。このリリースキーは、シスコのビルドサーバーに安全に保存されているリリース秘密キーに対応する公開キーです。公開リリースキーは ROMMON 内に埋め込まれているため、デバイスはブートに CiscoIOSXE ソフトウェアイメージの真正性と完全性を検証できます。

process_workflow

ROMMON は、デバイスをブートする際に、次の手順に従って署名付き Cisco IOS XE ソフトウェアイメージを検証します。

1. Cisco IOS XE ソフトウェアイメージを CPU メモリにロードします。
2. Cisco IOS XE ソフトウェアパッケージのヘッダーを調べます。
3. イメージに対して非セキュア整合性チェックを実行して、ディスクまたは TFTP でファイル破損が生じていないことを確認します。このチェックでは、非セキュア SHA-1 ハッシュが使用されます。



(注) この手順では、ディスク、ファイル転送、またはコピーのエラーによる不注意の破損がチェックされます。これはイメージコード署名の一部ではないため、意図的なイメージ改ざん性は検出されません。

4. シスコの RSA 2048 ビット公開リリースキーを ROMMON ストレージからコピーし、シスコの RSA 2048 ビット公開リリースキーが改ざんされていないことを検証します。
5. パッケージのヘッダーからコード署名用署名 (SHA-512 ハッシュ) を抽出し、シスコの RSA 公開リリースキーを使用して検証します。
6. Cisco IOS XE ソフトウェアパッケージの SHA-512 ハッシュを計算してコード署名の検証を行い、コード署名用署名と比較します。これで署名付きパッケージの検証が実行されたこととなります。
7. Cisco IOS XE ソフトウェアパッケージのヘッダーを調べて、プラットフォームタイプと CPU アーキテクチャの適合性を検証します。
8. Cisco IOS XE パッケージから Cisco IOS XE ソフトウェアを抽出してソフトウェアをブートします。

Result

(注) イメージコード署名の検証は、ステップ 4、5、および 6 で行われます。これは、2048 ビット RSA キーで暗号化された SHA-512 ハッシュを使用した、イメージのセキュアコード署名チェックです。このチェックは、意図的なイメージの改ざんを検出することを目的としています。

このソフトウェアがシスコのビルドサーバーによって生成されたものではない場合は、署名の検証が失敗します。デバイスの ROMMON がイメージを拒否してブートを停止します。

署名の検証に成功すると、デバイスはイメージをブートして Cisco IOS XE ランタイム環境に入ります。

イメージ署名

シスコのビルドサーバーが Cisco IOS XE ソフトウェアイメージを生成します。Cisco IOS XE ソフトウェアイメージは、ビルド時にデジタル署名されます。バイナリイメージファイル全体に対して SHA-512 ハッシュが生成され、このハッシュがシスコの RSA 2048 ビット秘密キーで暗号化されます。

ソフトウェアイメージとハードウェアの確認

ここでは、スイッチのブート時に作成されたチェックサムレコードを取得する方法について説明します。特権 EXEC モードで次のコマンドを入力します。

表 1: チェックサムレコードを取得するコマンド

コマンド	説明
<code>show platform sudi certificate [sign [nonce nonce]]</code>	特定の SUDI のチェックサムレコードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • (任意) sign : 署名を表示します。 • (任意) nonce : ナンス値を入力します。
<code>show platform integrity [sign [nonce nonce]]</code>	ブート段階のチェックサムレコードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • (任意) sign : 署名を表示します。 • (任意) nonce : ナンス値を入力します。

プラットフォーム ID の確認

次に、PEM形式でセキュアな固有デバイス識別子 (SUDI) チェーンを表示する例を示します。

SUDIにエンコードされるのは、個々のデバイスの製品IDとシリアル番号であり、何千ものデバイスからなるネットワーク上でデバイスを一意に識別できます。

- 最初の証明書は Cisco Root CA 2048 であり、
- 2つ目はシスコの下位 CA (ACT2 SUDI CA) です。

どちらの証明書も、<https://www.cisco.com/security/pki/> で公開されているものと一致しているかを確認できます。

- 3番目は SUDI 証明書です。


```
070: 50450000000000009000000144B45595F - PE          KEY_
080: 544C565F424F4152445F434F4D504154 - TLV_BOARD_COMPAT
090: 0000000900000012424F4152445F6369 - BOARD_ci
0A0: 73636F396B5F5459504500000000009 - sco9k_TYPE
0B0: 000000184B45595F544C565F43525950 - KEY_TLV_CRYP
0C0: 544F5F4B4559535452494E470000009 - TO_KEYSTRING

TLV: T=9, L=29, V=KEY_TLV_PACKAGE_COMPATIBILITY
TLV: T=9, L=11, V=FRU_RP_TYPE
TLV: T=9, L=24, V=KEY_TLV_PACKAGE_BOOTARCH
TLV: T=9, L=14, V=ARCH_i686_TYPE
TLV: T=9, L=20, V=KEY_TLV_BOARD_COMPAT
TLV: T=9, L=18, V=BOARD_cisco9k_TYPE
TLV: T=9, L=24, V=KEY_TLV_CRYPTO_KEYSTRING
TLV: T=9, L=10, V=EnCrYpTiOn
TLV: T=9, L=11, V=CW_BEGIN=$$
TLV: T=9, L=19, V=CW_FAMILY=$cisco9k$
TLV: T=9, L=41, V=CW_IMAGE=$cisco9k_iosxe.17.18.01.SPA.bin$
TLV: T=9, L=21, V=CW_VERSION=$17.18.01$
TLV: T=9, L=50, V=CW_FULL_VERSION=$17.18.01.0.163.1754452537..IOSXE$
TLV: T=9, L=52, V=CW_DESCRIPTION=$Cisco IOS Software, IOS-XE Software$
TLV: T=9, L=9, V=CW_END=$$
Found DIGISIGN TLV type 12 length = 392
RSA Self Test Passed

Expected hash:
DDAF35A193617ABACC417349AE204131
12E6FA4E89A97EA20A9EEEE64B55D39A
2192992A274FC1A836BA3C23A3FEEBBD
454D4423643CE80E2A9AC94FA54CA49F

Obtained hash:
DDAF35A193617ABACC417349AE204131
12E6FA4E89A97EA20A9EEEE64B55D39A
2192992A274FC1A836BA3C23A3FEEBBD
454D4423643CE80E2A9AC94FA54CA49F
Sha512 Self Test Passed
CiscoRommonBootValidateTlv: Arch
Found package arch type ARCH_i686_TYPE
CiscoRommonBootValidateTlv: Fru
Found package FRU type FRU_RP_TYPE
CiscoRommonBootValidateTlv: Shal
Performing Integrity Check ...
Returning default key storage: TAM

RSA Signed RELEASE Image Signature Verification Successful.
!
!
!
<<output truncated>>
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。